（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	児童発達支援事業所ちこちこ＋

公表日　令和７年　３月　２９日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援要等のスペースとの関係で適切であるか。	3		子どもの状態、状況に応じてスペースを区切って対応している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	3			来年度は職員を一人増員する
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3		室内に段差があるがそれも体の動きをコントロールするための支援として取りている	事故や怪我のないように気をつける
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3		消毒、掃除、整理整頓を徹底している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3		必要に応じて、事務所の空間を使用して個別対応を行っている。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	2	1	朝礼、終礼、月１回の職員会時に、振り返りや支援向上のための勉強会を行っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		職員会で周知し、検討している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		朝礼、終礼、月１回の職員会時に、振り返りや支援向上のための勉強会を行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3		第3者の意見をいただける機会をつくっていく。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3		朝礼、終礼、月１回の職員会時に、振り返りや支援向上のための勉強会を行っている。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか 。	3		保護者にも内容が分かりやすいように公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	3		前期と後期に分けて、個別面談を行っている。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		計画の前にケース検討会議を行っている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		アセスメントした後の計画、子どもの目標について会議をしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察などを含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	2	1		ポーテージプログラムを活用していく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容を踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3		保護者の悩みや悩み、希望と事業所でのお子どもの様子を照らし合わせながら、互いに納得いく支援内容にしている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		支援をする上で、職員自身がどの視点でお子どもを支援するのかを常に振り返りながら活動プログラムを考えている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		朝礼時日々の活動内容を振り返り、その子どもに何が必要なのかを検討している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	3		子どもの発達段階に応じて、小集団で行う活動を取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3		毎日、朝礼時に行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3		終礼時やお子ども個人の記録をする際に話し合いをしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3		職員それぞれの視点で記録をとり、支援の検討ができている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3		定期的にできるようになっていることと難しいことを確認しながら、目標達成をめざしている。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		現在は児童発達支援管理責任者が出席。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3		保健センターの保健師や相談支援専門員、必要に応じて特別支援教育コーディネーターと連携をとっている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		毎日の保育所等への送迎時に子どもの様子を伝え合ったり、必要に応じてケース会を行っている	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3		特別支援教育コーディネーターに来所してもらい子ども様子をみてもらっている。また、引継ぎシートを作成している。	
	28	（28～30は、センターのみ回答） 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	（自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	（31は、事業所のみ回答） 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか 。		3		今年度は必要に感じることがなかった。 必要に応じて助言をもらっていきたい。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3		地域のスーパーや公園等に行く活動を取り入れている。	併行通園をしていないこどもたちに、保育所等での交流できる機会をつくっていきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3		LINEでの日々の連絡を通して、日々の様子、できるようになったこと、事故でしてほいこと等を伝え合っている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3		第2土曜日の親子の日に行っている。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3		利用契約時や定期的に行うお知らせ時に説明している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	3		「家族の意向」に必要事項を記載してもらい、 それも踏まえて計画書を作成している。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	3		個別面談を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3		日々の子どもの様子を伝える際に、気軽に相談できるようにしている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		第2土曜日の親子の日に親子交流、子育て支援事族支援ができるように活動を設定している。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		なにかがあった時は迅速な対応をし、互いに納得いくかたちですみやかれるようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		LINEのツールやInstagramを活用して、発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		十分に留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		定期的にお便りを出したりして配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		地域住民を招待することはないが、送迎車に事業所ステッカーを貼ったり、戸外活動をしたりして知ってもらう機会をつくっている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		月1回の職員会で行っている。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		月1回の職員会で行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		利用契約時やその都度、職員同士で共有し安全に対応している。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		利用契約時に保護者に記載していただく「フェイスシート」で確認している。 現在、食物アレルギーの子どもはいない。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		業務継続のための勉強会や避難訓練を徹底して行っている。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、事族等へ周知しているか 。	3			環境の安全性や敷又でバリアフリーをしていない環境について周知する機会をつくっていきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		ヒヤリハットが起きた時を記録し、その都度振り返りを行っている。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		職員会の中で、年間２回研修をしている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明して解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3		職員会の中で、年間1回研修をしている。	